

整理番号	2019.06-2	
研究課題名	網膜虚血により入院した患者における脳梗塞発症に関する研究	
研究期間	2004年4月1日～2016年6月30日	
研究目的	一過性黒内障と網膜動脈閉塞症(以下は2疾患をまとめて網膜虚血とする)はいずれも網膜動脈の血流障害による視覚障害を来す疾患である。これらは脳内に血流を送る内頸動脈から分岐した眼動脈の分枝である網膜虚血の閉塞によって起こる。このため網膜虚血は虚血性脳血管障害の高危険群と考えられる。今回網膜虚血と最終的に診断した患者を後方視的に抽出し、脳血管障害発症の頻度とその危険因子を特定する事を目的とする。	
研究方法	研究対象範囲	2004年4月1日～2016年6月30日に網膜虚血で入院した患者。当院および川崎医科大学附属病院、川崎総合医療センター
	利用する情報等	年齢、性別、既往歴および合併症、喫煙習慣、頭部MRI、頸部動脈画像(頸部血管エコー、造影CT, MRA, 脳血管撮影)、臨床検査、胸部レントゲン、心電図(12誘導、ホルター型心電図)、カルテによる経過観察
	利用方法	カルテ記載から収集する
	他機関への提供	必要な場合上記データを匿名化しエクセル入力し直接渡す
研究責任者	岡山赤十字病院 脳卒中科 岩永 健	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	